

各 位

会 社 名 桂 川 電 機 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 渡 邊 正 禮  
( JASDAQ コード番号 : 6416 )

問 合 せ 先  
役 職 ・ 氏 名 常 務 取 締 役 朝 倉 敬 一  
電 話 03-3758-0181

平成31年3月期 通期連結業績予想の修正及び営業外収益(為替差益)の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成30年5月18日に公表しております平成31年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正するとともに、平成31年3月期第2四半期連結累計期間における営業外収益(為替差益)の計上につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正について

平成31年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	10,000	200	170	80	5.22
今 回 修 正 予 想 (B)	9,300	△ 200	△ 90	△ 50	△ 3.26
増 減 額 (B-A)	△ 700	△ 400	△ 260	△ 130	—
増 減 率 (%)	△ 7.0	—	—	—	—
ご参考: 前期実績(平成29年3月期)	9,338	△ 620	△ 543	△ 587	△ 38.33

修正の理由

本資料の発表日現在において当第2四半期の業績は、第1四半期の業績から下方に変動し、さらに公表の連結業績予想値を下回っております。

修正の主な要因といたしましては、下期に向け計画を見直した結果、売上げに関しましては、当初想定した販売価格に対して国内及び海外での企業間価格競争の激化が止まらず販売台数が下回ることが予想され、このことも影響して下期に向けアジア及び北米での販売に減少傾向がみられること、今後成長が見込める新たな産業分野向けの新製品販売は開始したものの、市場浸透までには時間を要し本格的な販売は、次期以降が予想されること、また、利益に関しましては、新製品開発コスト増加の懸念や原材料等の部材コストアップによる原価上昇などから、売上げ、利益への当社グループの事業環境は厳しい状況が続くものと見込まれるため、これらの状況を踏まえ通期連結業績予想を修正するものであります。

なお、為替の動向につきましては、今後も世界情勢により大きく変動することが考えられること等から、当第2四半期までの公表数値のままとしております。

当社グループでは、新製品販売へ注力するとともに、販売戦略の再構築、製品構成の見直しによる粗利益改善、費用削減など、売上げや利益率の向上に努めてまいります。

2. 営業外収益(為替差益)の計上について

1. 発生の概要

平成31年3月期第2四半期連結累計期間(平成30年4月1日から平成30年9月30日)において、為替相場の変動により営業外収益に為替差益86百万円を計上いたします。

これは主として、平成30年9月末の第2四半期末時点において、当社グループが保有する外貨建債権債務を同日の為替相場で評価替えたことにより発生した評価益であります。

なお、当該為替差益は平成30年9月期第2四半期末時点での為替相場による換算差額であり、平成31年3月期の決算におきましては、期末日の時価により為替差益の額は変動いたします。

2. 業績に与える影響

上記の営業外収益(為替差益)につきましては、本日開示の「平成31年3月期 第2四半期決算短信[日本基準](連結)」に織り込み済みであります。

(業績予想に関する留意事項)

上記の通期連結業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済や為替の動向等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。今後もこれらの影響額が判明し大きく変動した場合は、開示基準に従って速やかに開示いたします。